

難聴児の早期支援に向けた保健・医療・福祉・教育の連携プロジェクトの 立ち上げについて

1. 趣旨

難聴は、早期に発見され適切な支援が行われた場合には、より有効に音声言語の発達を促すことが可能となっていることから、難聴児に対する早期支援の取組の促進が極めて重要であり、その一層の推進が求められている。また、難聴児に対する早期療育の促進のためには、難聴児及びその家族に対して、都道府県及び市区町村の保健、医療、福祉及び教育に関する部局や医療機関等の関係機関が連携して、支援を行う必要性が指摘されている。

こうした課題を踏まえ、各地方公共団体における保健、医療、福祉及び教育部局並びに医療機関等の関係機関の連携をより一層推進し、難聴児本人及びその家族への支援につなげるための方策について、厚生労働省及び文部科学省が連携し検討を進めるため、「難聴児の早期支援に向けた保健・医療・福祉・教育の連携プロジェクト」を立ち上げる。

2. 検討事項

各地方公共団体の母子保健部局、医療部局、福祉部局及び教育部局が主導し、支援が必要な難聴児及びその家族が地域で切れ目なく支援が受けられるよう、保健・医療・福祉・教育のより一層の連携を推進するための方策を検討する。

3. 実施方法

- (1) 別紙の構成員において、「2. 検討事項」に掲げる事項について検討を行う。
- (2) 必要に応じて、別紙以外の関係者にも協力を求めることができる。

4. その他

- (1) このプロジェクトに関する庶務は、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課及び文部科学省初等中等教育局特別支援教育課において協力して行う。
- (2) その他プロジェクトの運営に関する事項は、必要に応じ構成員に諮って定める。

(別紙)

難聴児の早期支援に向けた保健・医療・福祉・教育の連携プロジェクト構成員

共同議長 厚生労働副大臣 大口 善徳

共同議長 文部科学副大臣 浮島 智子

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長 橋本 泰宏

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課長 内山 博之

厚生労働省医政局医事課長 佐々木 健

厚生労働省子ども家庭局母子保健課長 小林 秀幸

文部科学省初等中等教育局長 永山 賀久

文部科学省大臣官房審議官（初等中等教育局担当） 丸山 洋司

文部科学省初等中等教育局特別支援教育課長 俵 幸嗣

文部科学省高等教育局医学教育課長 西田 憲史